



平成19年4月23日

各 位

会 社 名：株式会社三菱ケミカルホールディングス
代表者名：代表取締役社長 小林 喜光
(コード番号：4188)
問合せ先：広報・IR室長 中山 哲也
TEL：03-6414-4870

会 社 名：三菱樹脂株式会社
代表者名：代表取締役社長 神尾 章
(コード番号：4213)
問合せ先：執行役員総務人事部長兼広報室長
中西 英二
TEL：03-3283-4006

株式交換による三菱樹脂株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「三菱ケミカルホールディングス」といい、三菱ケミカルホールディングスの子会社・関連会社をあわせて「三菱ケミカルホールディングスグループ」といいます。）と三菱樹脂株式会社（本社：東京都千代田区、社長：神尾 章、以下「三菱樹脂」といい、三菱ケミカルホールディングスとあわせて「両社」といいます。）は、本日開催されたそれぞれの取締役会において、平成19年10月1日を期して、下記の通り三菱ケミカルホールディングスを完全親会社、三菱樹脂を完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1 株式交換による完全子会社化の目的

三菱ケミカルホールディングスグループは、機能材料分野において今後ますます多様化、高度化、複合化していくことが予想されるお客様のニーズにより的確にお応えし続けていくために、迅速な意思決定と柔軟かつ効率的な経営施策の実施を通じてグループシナジーの最大化を図ることにより、事業展開力・課題解決力をより一層強化していく必要があります。この目的を達成するために、機能材料分野の事業並びに機能材料事業子会社4社の経営資源を再編・統合することを平成19年2月8日に発表いたしました。また、同日、再編・統合に先立ち、機能材料分野を担う中核会社である三菱樹脂の株式を対象として、三菱ケミカルホールディングスの完全子会社である三菱化学株式会社（以下「三菱化学」といいます。）により公開買付けを行い、その後の一連の手続きにより三菱樹脂を三菱ケミカルホールディングスの完全子会社化することを発表いたしました。

具体的には、まず、第1段階として、三菱化学は平成19年2月9日から平成19年3月15日までの期間、三菱樹脂のすべての発行済株式（但し、三菱化学が既に保有している三菱樹脂の株式及び三菱樹脂が保有する自己株式を除きます。）の取得を目的として、公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施いたしました。その結果、三菱化学の三菱樹脂株式の発行済株式総数に占める所有割合は、91.41%となりました。本公開買付けにより三菱化学が三菱樹脂のすべての発行済株式を取得できなかったため、三菱ケミカルホールディングスは、平成19年9月下旬を目途に、三菱化学からその保有する三菱樹脂の株式のすべてを取得した後、平成19年10月1日を本株式交換の効力発生日として、三菱樹脂との間で三菱ケミカルホールディングスの株式を対価とする本株式交換を行い、三菱樹脂を完全子会社とすることとなりました。本日、本株式交換の詳細な内容について両社の取締役会において決定し、株式交換契約を締結いたしました。

両社は本株式交換の株式交換比率の公正性を担保するため、三菱ケミカルホールディングスは日

興シティグループ証券株式会社（以下「日興シティグループ証券」といいます。）を、三菱樹脂は三菱UFJ証券株式会社（以下「三菱UFJ証券」といいます。）を第三者算定機関として別個に選定し、株式交換比率の算定を依頼しました。そして、両社は、その算定書の内容を参考にして、平成19年4月23日開催の取締役会において、株式交換比率について慎重に検討した結果、両社とも取締役全員一致で、2.（2）に定める株式交換比率は妥当であると判断しました。なお、両当事会社間に役員の兼任はありません。三菱ケミカルホールディングスの完全子会社である三菱化学の執行役員である村瀬滋美は三菱樹脂の社外監査役を兼任しておりますが、上記の取締役会における審議には参加しませんでした。

また、三菱樹脂の株式は現在、東京証券取引所市場第一部及び大阪証券取引所市場第一部に上場されておりますが、平成19年3月末日の少数特定者持株数が上場株式数の90%超となったため、両証券取引所の有価証券上場規程の株券上場廃止基準に抵触し、所定の手続きを経て平成19年7月下旬を目途に上場廃止となります。

（注）本公開買付けの結果、三菱化学の三菱樹脂株式の議決権所有割合は、91.53%（買付け等後における三菱化学の所有株券等に係る議決権の数 196,856 個の、三菱樹脂の平成18年9月30日現在の発行済株式総数 215,366,350 株から三菱樹脂が保有する平成18年9月30日現在の自己株式数 297,419 株を控除した株式数 215,068,931 株を基に 215,068 個として計算された三菱樹脂の総株主の議決権の数に対する割合）となりました。

2 株式交換の要旨

（1）株式交換の日程

株式交換決議取締役会	平成19年4月23日（月）
株式交換契約締結	平成19年4月23日（月）
株式交換の予定日（効力発生日）	平成19年10月1日（月）
株券交付日	平成19年11月20日（火）（予定）

（注）本株式交換は、三菱ケミカルホールディングスについては、会社法第796条第3項の規定に基づき簡易株式交換の手続きにより株主総会の承認を得ずに行う予定であり、また、三菱樹脂については、会社法第784条第1項の規定に基づき略式株式交換の手続きにより株主総会の承認を得ずに行います。

（2）株式交換比率

会社名	株式会社 三菱ケミカルホールディングス (完全親会社)	三菱樹脂株式会社 (完全子会社)
株式交換比率	1	0.41

（注） 1. 株式の割当比率

三菱樹脂の普通株式1株に対して、三菱ケミカルホールディングスの普通株式0.41株を割り当てます。但し、三菱ケミカルホールディングスは、平成19年9月下旬を目途に、三菱化学からその保有する三菱樹脂の普通株式のすべてを取得する予定であり、これらについては、本株式交換による株式の割当てを行いません。

2. 株式交換により交付する株式の数の算定方式等

三菱ケミカルホールディングスは、本株式交換に際して、三菱樹脂の株主（実質株主を含みます。）に対して、その所有する三菱樹脂の普通株式に代わる金銭等として、効力発生日の前日の最終の三菱樹脂の株主名簿（実質株主名簿を含みます。）に記載又は記録された株主のうち三菱ケミカルホールディングスを除く株主の所有する三菱樹脂の普通株式数の合計数に0.41を乗じて得た数の三菱ケミカルホールディングスの所有する自己株式である普通株式を交付します。また、本株式交換により三菱樹脂の株主に交付しなければならない三菱ケミカルホールディングスの普通株式の数に

1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条の規定に従い、当該株主に対しては金銭の交付が行われることになります。

(3) 株式交換比率の算定根拠等

① 算定の基礎及び経緯

両社は本株式交換の株式交換比率の公正性を担保するため、三菱ケミカルホールディングスは日興シティグループ証券を、三菱樹脂は三菱UFJ証券を第三者算定機関として選定し、株式交換比率の算定を依頼しました。

日興シティグループ証券は、両社の公表されている財務情報及び将来に関する情報、本公開買付け及び本株式交換の事業上の意義、両社株価及びその形成状況等を多面的に分析・検討し、両社について、ディスカунテッド・キャッシュフロー分析法（以下「DCF法」といいます。）、類似公開企業乗数比較法及び市場株価法の各手法を用いて株式交換比率の算定を行い、その算定結果を三菱ケミカルホールディングスに提出いたしました。

日興シティグループ証券は、DCF法により算出された両社の株式価値評価を用い、DCF法による株式交換比率の算定において、三菱樹脂株式1株に対する三菱ケミカルホールディングス株式の割当株数を0.321株から0.422株と算定いたしました。なお、DCF法による分析において前提とした両社の将来の利益計画では大幅な増減益は見込んでおりません。また、類似公開企業乗数比較法により算出された両社の株式価値評価を用い、類似公開企業乗数比較法による株式交換比率の算定において、三菱樹脂株式1株に対する三菱ケミカルホールディングス株式の割当株数を0.334株から0.450株と算定いたしました。市場株価法では、両社について、本公開買付け公表日の翌日である平成19年2月9日から平成19年4月19日まで及び本公開買付けにおける買付期間最終日の翌日である平成19年3月16日から平成19年4月19日までの各期間における、各取引日の終値の出来高加重平均の分析を行い、市場株価法による株式交換比率の算定において、三菱樹脂株式1株に対する三菱ケミカルホールディングス株式の割当株数を0.399株から0.425株と算定いたしました。

三菱UFJ証券は、三菱ケミカルホールディングスについて、本株式交換の財務数値への影響や株価形成の状況を勘案した上で市場株価平均法を用いて評価を行い、三菱樹脂については、市場株価平均法、DCF法による評価を行い、これらの結果を総合的に勘案して株式交換比率に関する算定結果を三菱樹脂に提出いたしました。なお、DCF法による分析において前提とした三菱樹脂の将来の利益計画では大幅な増減益は見込んでおりません。それぞれの評価手法による算定結果は、三菱樹脂株式1株に対する三菱ケミカルホールディングス株式の割当株数を、市場株価平均法では0.399株から0.429株（計算対象期間は平成19年2月5日から平成19年4月19日までの間における、直近1ヶ月間を含む複数期間の終値平均）、DCF法では0.391株から0.537株（三菱ケミカルホールディングス株式の市場株価平均法による評価との比率）としております。

三菱ケミカルホールディングスは日興シティグループ証券による株式交換比率の算定結果を参考に、他方、三菱樹脂は三菱UFJ証券による株式交換比率の算定結果を参考に、それぞれ両社の本公開買付け後の株価形成状況、今後の財務状況や業績動向、本公開買付けの結果等を総合的に勘案し、両社協議を重ねました。その結果、両社はそれぞれ、上記(2)の株式交換比率は妥当であり、それぞれの株主の利益を損ねるものではないとの判断に至り、平成19年4月23日に開催された両社の取締役会において承認の上、同日両社間で株式交換契約を締結いたしました。

なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更されることがあります。

② 算定機関との関係

日興シティグループ証券は三菱ケミカルホールディングス及び三菱樹脂の関連当事者には該当しません。また、三菱UFJ証券は三菱ケミカルホールディングス及び三菱樹脂の関連当事者には該当しません。

- (4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
三菱樹脂は新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておらず、該当事項はありません。

3 株式交換当事会社の概要

(1) 商号	株式会社三菱ケミカルホールディングス	三菱樹脂株式会社
(2) 事業内容	会社の株式又は持分の所有を通じての当該会社の経営管理	合成樹脂製品の製造及び販売
(3) 設立年月日	平成17年10月3日	昭和18年1月15日
(4) 本店所在地	東京都港区	東京都千代田区
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 喜光	代表取締役社長 神尾 章
(6) 資本金	50,000 百万円 (平成18年9月30日現在)	21,503 百万円 (平成18年9月30日現在)
(7) 発行済株式数	1,806,288,107 株	215,366,350 株
(8) 純資産	287,622 百万円 (単独) (平成18年9月30日現在)	51,856 百万円 (単独) (平成18年9月30日現在)
(9) 総資産	429,025 百万円 (単独) (平成18年9月30日現在)	145,556 百万円 (単独) (平成18年9月30日現在)
(10) 決算期	3月31日	3月31日
(11) 従業員数	32 名 (単独) (平成18年9月30日現在)	1,553 名 (単独) (平成18年9月30日現在)
(12) 主要取引先	三菱化学株式会社 三菱ウェルファーマ株式会社	三菱商事株式会社 旭日産業株式会社 他
(13) 大株主及び持株比率	1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口 4.30% 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口 3.37% 3. 明治安田生命保険相互会社 3.35% 4. 武田薬品工業株式会社 2.86% 5. 日本生命保険相互会社 2.73% (平成18年9月30日現在)	1. 三菱化学株式会社 52.61% (注1) 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口 2.48% 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行 2.17% 4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口 1.93% 5. 三菱UFJ信託銀行株式会社 1.38% (平成18年9月30日現在)
(14) 主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほコーポレート銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 農林中央金庫	株式会社三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 他
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	平成19年3月31日現在、三菱ケミカルホールディングスは、三菱樹脂の発行済株式数の91.41%の株式を完全子会社である三菱化学を通じて間接保有しており、連結対象会社としています。なお、三菱ケミカルホールディングスは、平成19年9月下旬を目途に、三菱化学からその保有する三菱樹脂の普通株式のすべてを取得する予定です。
	人的関係	両当事会社間に役員の兼任はありません。
	取引関係	両当事会社間に取引関係はございません。
	関連当事者への該当状況	三菱ケミカルホールディングスは、三菱樹脂を連結対象会社としております。

(16) 最近3年間の業績 (連結/単位:百万円)						
	株式会社 三菱ケミカルホールディングス (完全親会社)			三菱樹脂株式会社 (完全子会社)		
決算期	平成16年 3月期 (注2)	平成17年 3月期 (注2)	平成18年 3月期 (注3)	平成16年 3月期	平成17年 3月期	平成18年 3月期
売上高	1,925,331	2,189,462	2,408,945	170,961	177,567	186,228
営業利益	98,163	148,624	133,619	7,517	9,736	9,943
経常利益	82,613	148,069	143,575	6,416	9,112	9,723
当期純利益	34,547	55,372	85,569	3,422	4,202	5,805
1株当たり当期純利益(円)	15.82	25.40	69.51	15.88	19.52	26.98
1株当たり配当金(円)	4.00	6.00	8.00	4.00	5.00	5.00
1株当たり純資産(円)	182.59	205.09	478.72	225.86	239.71	277.45
(注1) 本公開買付けにより、三菱化学の持株比率は、平成19年3月31日現在、91.41%となっております。						
(注2) 三菱ケミカルホールディングスは平成17年10月に設立されたため、平成16年3月期、平成17年3月期については、三菱化学の連結財務数値を記載しております。						
(注3) 平成18年3月期の1株当たり配当金は、三菱ケミカルホールディングスが平成17年10月に設立されたため、期末配当金額のみを記載しております。なお、三菱化学の平成18年3月期中間配当金額は1株当たり3.00円であります。						

4 株式交換後の状況

- (1) 商号 株式会社三菱ケミカルホールディングス
- (2) 事業内容 会社の株式又は持分の所有を通じての当該会社の経営管理
- (3) 本店所在地 東京都港区
- (4) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長
小林 喜光
- (5) 資本金 50,000 百万円
- (6) 純資産 現時点では確定しておりません。
- (7) 総資産 現時点では確定しておりません。
- (8) 決算期 3月31日
- (9) 会計処理の概要 共通支配下取引等のうち少数株主との取引に該当する見込みです。なお、本株式交換により発生するのれん代に関しては現時点では未定です。
- (10) 株式交換による業績への影響の見通し
三菱樹脂は、現在三菱ケミカルホールディングスの連結子会社となっておりますので、本株式交換による三菱ケミカルホールディングスの業績への影響は、連結、単独ともに軽微であると見込んでおります。

以上